

個別施設計画（舗装）

平成 30 年 4 月鹿児島県

始良市

（令和 6 年 4 月更新）

目次

1.舗装の現状と課題

- 1.1 管理道路の現状
- 1.2 舗装修繕予算の現状
- 1.3 舗装の現状

2.舗装の維持管理の基本的な考え方

- 2.1 舗装管理の基本方針
- 2.2 管理道路の分類（グループ分け）
- 2.3 管理基準
- 2.4 点検方法・点検頻度

3.計画期間

4.対策の優先順位（補修計画の方針）

5.舗装の状態、対策内容、実施時期

- 5.1 診断結果
- 5.2 対策内容と実施時期

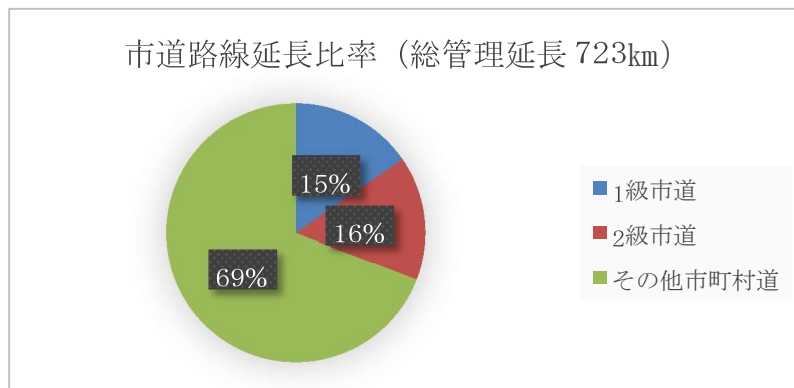
1.舗装の現状と課題

1.1 管理道路の現状

(1) 管理延長と舗装延長

道路区分	管理延長	舗装延長		舗装率
		A s 舗装	C o 舗装	
1 級市町村道	110 k m	107 k m	2 k m	98.8%
2 級市町村道	114 k m	106 k m	4 k m	96.5%
その他市町村道	499 k m	437 k m	21 k m	91.7%
計	723 k m	650 k m	27 k m	93.6%

※ A s 舗装は簡易舗装を含む



1.2 舗装修繕予算の現状

・平成 25 年度までは、平均 2 千万円の予算（単独）で対処的に舗装補修を行ってきた。平成 26 年度から令和元年度にかけては、平成 25 年度からの「道路ストック総点検実施要領（案）」に準拠した舗装の総点検結果を踏まえ、大規模かつ緊急を要する箇所について、補助事業を活用して集中的に予算を投入（平均約 7 千万円（補助+単独））し、重点的に舗装補修を行ってきた。

今後は、これまでの大規模補修の成果を踏まえ、計画的に舗装修繕を行うこととしており、令和 6 年度は約 9 千万円（起債事業+単独）の予算を確保している。

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
道路橋りょう費 (道路予算)	691,284,000	923,086,000	686,298,000	762,130,000	1,053,735,000	1,064,306,000	1,058,359,000	1,746,081,000	1,517,676,000	1,525,489,000	779,241,000
道路維持費	153,772,000	133,342,000	130,750,000	114,262,000	185,244,000	194,033,000	196,044,000	254,228,000	259,206,000	294,481,000	244,122,000
舗装修繕	21,773,450	26,411,000	13,808,145	20,753,954	52,819,245	66,438,565	38,980,482	105,383,321	86,375,171	67,230,679	32,163,776
単独事業	21,773,450	26,411,000	13,808,145	20,753,954	16,511,245	16,770,565	16,922,482	19,825,721	36,875,171	41,230,679	32,163,776
補助事業					36,308,000	49,668,000	22,058,000	85,557,600	49,500,000	26,000,000	0
道路新設改良費	450,767,000	780,744,000	546,563,000	610,036,000	694,841,000	770,063,000	786,305,000	1,331,353,000	1,012,260,000	1,067,674,000	398,114,000
橋りょう維持費	86,745,000	9,000,000	8,985,000	37,832,000	173,650,000	100,210,000	76,010,000	160,500,000	246,210,000	163,334,000	137,005,000
舗装修繕/道路予算	3.1%	2.9%	2.0%	2.7%	5.0%	6.2%	3.7%	6.0%	5.7%	4.4%	4.1%
舗装修繕(単独)/ 道路予算	3.1%	2.9%	2.0%	2.7%	1.6%	1.6%	1.6%	1.1%	2.4%	2.7%	4.1%

1.3 舗装の現状

舗装の現状把握は、平成 25 年度～平成 30 年度に「道路ストック総点検実施要領（案）H25.2 国土交通省 道路局」に準拠した点検を実施し、平成 31 年～現在までは市職員による点検パトロールを始良市が管理する 1・2 級市道及びその他市道 L=723 k mのうち、主要路線等の約 303.2km を対象として実施した。その結果、損傷の著しい区間（MCI^{※1} ≤ 4 の区間）が調査全体の約 32%となる約 97.2 k m存在していることが確認され、市道の劣化が進行していることから、個別施設計画を策定し計画的に修繕を行う必要がある。

2.舗装の維持管理の基本的な考え方

2.1 舗装管理の基本方針

舗装の個別施設計画の策定にあたっては、診断結果を踏まえた適切な措置を行うことで、道路舗装の長寿命化や舗装の維持修繕費のライフサイクルコスト縮減を目指す。

2.2 管理道路の分類（グループ分け）

- ・大型車交通量等を踏まえた分類

分類	対象道路
分類Cの道路	1級市道、2級市道
分類Dの道路	上記以外の道路

2.3 管理基準

MC I ※ ₁	ひび割れ率 ※ ₂	わだち掘れ量 ※ ₃	I R I ※ ₄
4以下	40%	40mm	8mm/m

2.4 点検方法・点検頻度

	点検方法	点検頻度
分類Cの道路	路面性状調査	5年に1度
分類Dの道路	巡視の機会を通じた路面状況把握	

3.計画期間

- ・当該個別施設計画の計画期間は、10年とする

4.対策の優先順位（補修計画の方針）

- ・舗装損傷状況、路線の重要性、交通量等を考慮し補修の優先順位を決定する

5.舗装の状態、対策内容、実施時期

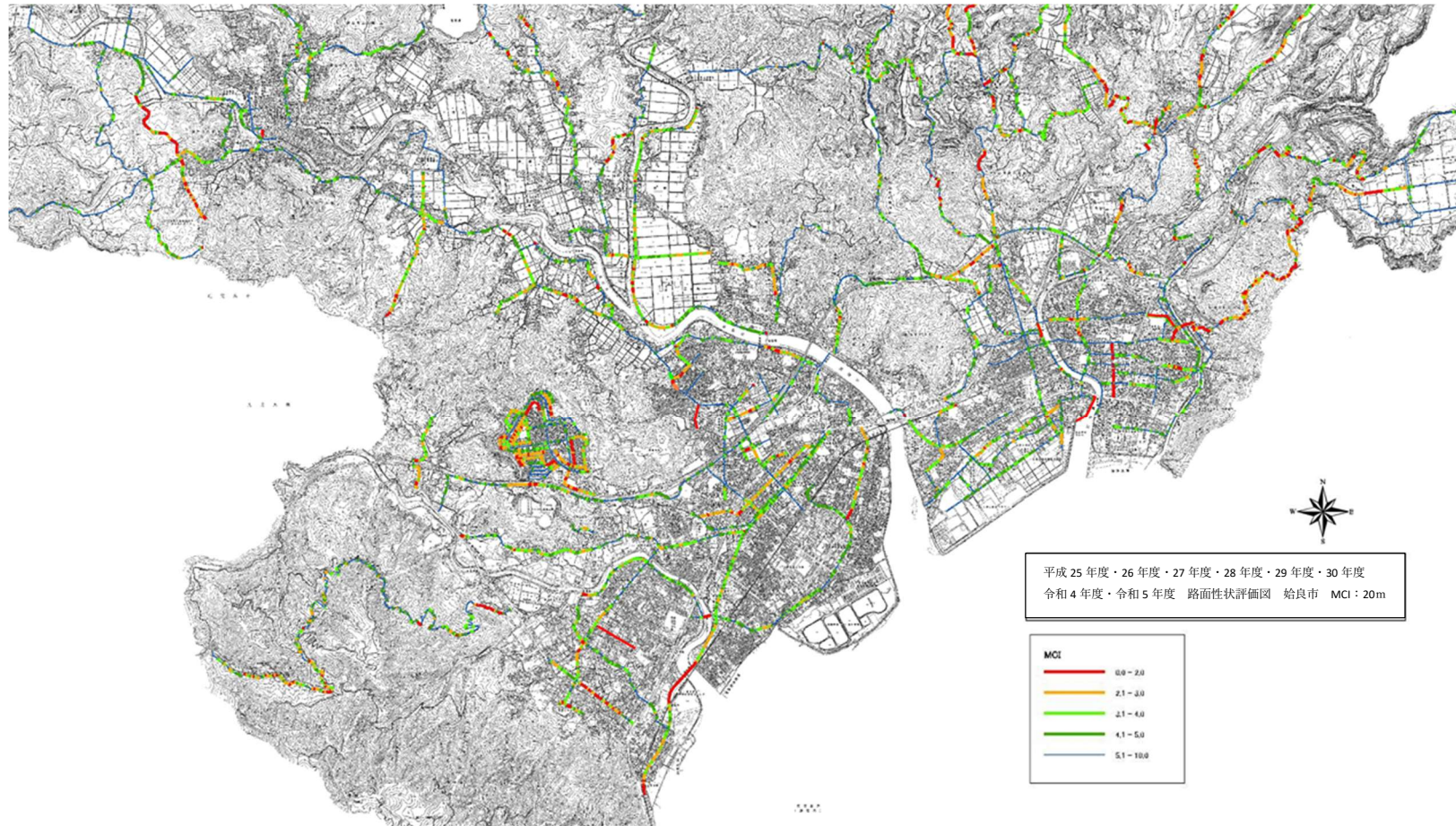
5.1 診断結果

- ・平成25～令和5年度に点検した303.2kmの診断結果は以下のとおり

	区分Ⅰ	区分Ⅱ	区分Ⅲ	Ⅲ-1	Ⅲ-2
分類Cの道路	147km	59km	97.2km		
分類Dの道路	—km	—km	—km		

5.2 対策内容と実施時期

- ・点検実施箇所及び対策必要箇所



・措置を必要とする箇所一覧 ※上位 31 箇所抜粋

箇所	評価年度	等級	路線名称	※ 解析延長 1	MCI \leq 4 の 延長(m)	MCI 4 以 下の割合 (%)	措置内容	予定年度	備考
1	25	1 級	東原～上水流線	3265.0	1565.0	47.9	表層打換	31-05	
2	26	2 級	帖佐小学校～三拾町線	1245.0	905.0	72.7	路盤打換	03	
3	25	2 級	役場前通り線	1550.0	1450.0	93.5	路盤打換	04	
4	25	2 級	松原・十日町線	1015.0	930.0	91.6	路盤打換	04	
5	26	その他	奥之宇都線	1625.0	1465.0	90.2	路盤打換	04	
6	25	その他	十日町～脇元線	4425.0	3375.0	76.3	路盤打換	04-07	
7	27	2 級	三拾町～中津野線	1370.0	970.0	70.8	路盤打換	04	
8	26	その他	久末・北線	2735.0	1775.0	64.9	路盤打換	04	
9	25	1 級	西別府線	7185.0	4310.0	60.0	表層打換	27-07	
10	27	2 級	川床線	1440.0	775.0	53.8	路盤打換	05	
11	28	1 級	中野線	4900.0	2620.0	53.5	路盤打換	05	
12	26	1 級	久末線	1565.0	790.0	50.5	路盤打換	31-05	
13	28	1 級	吉原線	610.0	300.0	49.2	表層打換	05	
14	26	1 級	口ノ町・湯之谷線	2685.0	1285.0	47.9	表層打換	05	
15	26	1 級	塩入線	1550.0	740.0	47.7	表層打換	05	
16	27	2 級	隈原本線	1090.0	510.0	46.8	表層打換	06	

17	28	1級	永原・市野線	4830.0	2170.0	44.9	表層打換	06	
18	27	2級	板ノ口～飛野線	6055.0	2700.0	44.6	表層打換	06	
19	27	1級	小山田線	4500.0	1760.0	39.1	表層打換	06	
20	25	1級	宮島・下久徳線	2130.0	600.0	28.2	表層打換	31-06	
21	25	1級	仮屋馬場通線	1620.0	20.0	1.2	表層打換	05	
22	4	その他	木田・萩原後線	250.0	100.0	40.0	表層打換	05	
23	4	その他	札立・川原線	410.0	200.0	48.8	表層打換	05	
24	5	その他	西野妻・青葉台線	550.0	350.0	63.6	表層打換	06-07	
26	5	その他	保養院裏・原方線	350.0	150.0	42.9	表層打換	06-07	
27	5	その他	錦江町・加治木小学校線	350.0	185.0	52.9	表層打換	06-07	
28	5	1級	吉原後線	600.0	200.0	33.3	表層打換	06-07	
29	5	その他	網掛川口線	650.0	20.0	44.6	表層打換	06-07	
30	5	その他	岩原西通線	700.0	300.0	42.8	表層打換	06-07	
31	25	1級	萩原線	1155.0	400.0	34.6	表層打換	06-07	

※実施予定年度は予算や現場状況などによって前後する場合があります。

用語の解説

※1 MC I

ひび割れ率、わだち掘れ量及び縦断凹凸などの路面性状値などにより算出された路面の評価値

判定基準	判定
$MC I > 5$	現時点で補修の必要性なし
$4 < MC I \leq 5$	要観察
$MC I \leq 4$	補修が必要

※2 ひび割れ率

舗装の20mごとのひび割れの割合

判定基準	判定
ひび割れ率20%以下	損傷度 小
ひび割れ率20%～40%	損傷度 中
ひび割れ率40%以上	損傷度 大

※3 わだち掘れ量

舗装における横断方向の一断面内で最高地点と最低地点の差（深さ）

判定基準	判定
わだち掘れが小さい（概ね2cm以下）	損傷度 小
わだち掘れやや大きい（概ね2～4cm）	損傷度 中
わだち掘れが著しい（概ね4cm以上）	損傷度 大

※4 I R I

道路舗装面の縦断凹凸を示す指数

判定基準	判定
$I R I = 0 \sim 3 \text{mm/m}$	損傷度 小
$I R I = 3 \sim 8 \text{mm/m}$	損傷度 中
$I R I = 8 \text{mm/m}$ 程度以上	損傷度 大